

(法第29条関係様式例)

2023年度事業報告書

特定非営利活動法人ミンナのチカラ

1 事業の成果

居場所づくりについては、第1・3・5日曜日の月2～3回ひきこもりの居場所をミンナのC a s a で開設したほか、胎内市から多世代交流拠点の運営を受託しました。

居場所は今年度28回開設し延べ16名が利用しました。1回あたり平均0.6人弱と利用は少ないですが、ひきこもりに着目した居場所の開設をブレずに続けていく必要があると思っています。なお、一度は社会復帰したもののそこでの人間関係に悩んでストレス発散にしゃべりに来るなど居場所としての存在意義を認識することもできました。

まだまだ周知も不足していると思われることから医療機関や福祉施設などの関係機関にチラシを配布するなど、多くの人に居場所の存在を周知していくという情報発信が必要であると感じています。

施設の運営については、5月にボランティアスタッフを含め部屋の片づけを行い、過ごしやすい環境をつくることができました。

受託した多世代交流事業では、ほぼ毎月何らかのワークショップを行い、ウェルネス中条様の会議室をお借りし何度か開催するなど他事業者との連携も行いました。

そして、学用品バンクのミンナのユズリバでは、17組が利用しました。昨年同様集めることが目的の事業ではないので、必要としている方に譲り渡せるよう周知を図っていくことが必要であると感じています。

(1) ミンナのC a s a 28回開催 延べ16人の利用

(2) ミンナのユズリバ 17組の利用

在庫：トータル200着以上

ランドセル、高校の制服、中学校の内履きもあり

(3) 多世代交流 15回開催 延べ161人の参加（スタッフ含む。）

空き家・空き地対策では、空き地の草刈りを2件対応しました。また、胎内市の空き家バンク担当課と連携し、当法人の空き家・空地対策のチラシを市役所に配置してもらいました。

また、昨年度実施した中条中学校3年生の総合学習の伴走を活かし、空き家に関するトリセツを作成し、こちらも市役所に配置してもらいました。

交流イベントとして、多世代交流事業とも連動して行ったマコモダケ栽培体験は、植え付けから収穫まで鼓岡地内のほ場で体験する予定でしたが、高温・渇水の影響で収穫時期が例年通りとはならずスタッフが収穫し分け合うなどの対応を取りました。

また、今年度は初めてそばの栽培にも挑戦しました。8月に播種を行いました。当月下旬まで雨が降らないなどのハプニングにも見舞われ、中旬での予期しない2回目の播種も必要になるなど想定していた量の収穫には至りませんでした。予定していたそばを食すイベントの開催もできませんでした。

また、多世代交流事業で実施した竹灯籠ワークショップからの広がりでも、昨年引き続き中条小学校秋祭りで5年生80人向けに竹灯籠作製のワークショップを開催したほか、(株)小野組様のイベントに出店しての竹灯籠ワークショップ、チューリップフェスティバルでは、夜間開催を彩る竹灯籠26本を花畑会場までの通路に設置したり、日中は竹灯籠ワークショップを実施したりしました。

そして、7月下旬にはおいでよ！本町マルシェの実行委員会の一員としてオール胎内で臨んだイベントを盛り上げました。なお、参加者は、2,000人でした。

有害鳥獣対策となる放置柿を収集し、さわし柿、干し柿等に利用する取組を実施しました。胎内市とも連携し柿の収集について、市報に掲載してもらったことで8名から連絡をいただき多くの柿を集めることができました。なお、取組について新潟日報や朝日新聞に掲載していただきました。

このほか、新潟NPO協会からの依頼により「いのちを守る超連続勉強会」の講師として参加させていただきました。

最後に、胎内市健康づくり課と連携し、ひきこもりの実態調査をすべく、2023年12月に健康調査票とともに「日常生活の困りごと調査(A3横両面)」を同封してもらい5,400通ほどを回収することができました。この集計を進めることで市内の実態を明らかにして市と共有し事業を実施していきたいと考えています。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
居場所づくりに関する事業	ひきこもりの当事者とその家族の居場所「ミンナのCasa」を運営 このほか、多世代交流拠点運営、学用服バンクの運営を居場所づくりの一環として実施	毎月第1・3・5日曜日の午後2時から4時まで 多世代交流は毎月第3日曜日の正午から午後2時まで	胎内市新栄町1-20	18人	胎内市民、ひきこもりの当事者やその家族等	545
空き家・空き地対策に関する事業	空き家等の管理・見守りを行うほか、空き家等の利活用に向けたマッチングの実施	通年	胎内市全域	3人	胎内市民及び市内に空き家等を所有する者	55
交流・イベント開催に関する事業	マルシェの企画出店やワークショップ等を実施	通年	胎内市全域	7人	胎内市民やワークショップに関心がある者	109
資源循環に関する事業	学用服バンクの運営	通年	胎内市内全域	10人	胎内市民	0
農林水産業の振興に関する事業	放置柿活用のほか、マコモダケとそばの農作物の栽培を実施	通年	胎内市内全域	6人	胎内市民や取組に関心がある者	81

写真及び映像の撮影又は加工に関する事業	ドローンを用いた撮影等を実施	通年	新潟県全域ほか	3人	胎内市民ほか当該映像・写真を希望する者	0
自治体の施策推進に関する事業	市の施策推進に関する調査等に関する	通年	新潟県全域	6人	胎内市民等	0
前条に掲げる活動に資する事業	市民等の困りごとの解消につながる取組のほか、取組に関する講師等を実施	通年	新潟県全域	3人	新潟県民	15